



「長寿をお祝い申し上げます」

9月15日、平安正盛町長と島元嗣あまみ農協知名事業本部専務理事らが、新90歳・100歳と100歳以上になられた方を表敬訪問し、祝状と、記念品として名入り湯のみやシマ桑が贈られました。今年の対象者数は、新90歳42名、新100歳4名、100歳以上2名の計48名でした。



9月1日から交付が始まりました

9月1日、役場前において、ご当地ナンバー交付式がありました。ナンバープレートは、町民の皆さんに町への愛着を深めてもらうことや、観光資源を広くPRすることを目的に制作されました。記念すべき1番目のナンバーを受け取ったのは、芦清良の田原美佐夫さんでした。



今年で最後のたばこ取引

9月5日から9日までの約4日間、沖永良部葉たばこ取扱所において、日本たばこ産業株式会社(JT)による葉たばこの取引がありました。同取扱所は、今年で閉鎖され来年からは、宮崎県で取引されます。今後はJTが、直接農家まで出向き、葉たばこの集荷・輸送を行います。



見守り活動を民間事業者等と連携

9月8日、町議会委員会室において、「民間事業者等による高齢者等見守りに関する協定調印式」がありました。要援護者の見守り活動の体制強化を目的に、知名町と民生・児童委員協議会、奄美大島信用金庫、奄美信用組合、あまみ農協知名事業本部が協定を締結しました。



子どもたちが生きもの調査

9月15日に、えらぶ郷土会とファンブル塾主催の「トウギョの里ビオトープ生きもの調査」がありました。講師の鮫島正道氏(鹿児島大学教授)が島内に生息する生物を紹介した後、ビオトープに生息するトウギョやカダヤシなどを捕獲し、それぞれの生態を学びました。



今年で開設20周年を迎えます

今年で開設20周年となる特別養護老人ホームさくら園を運営する社会福祉法人ともお会の合同敬老会が、9月15日にありました。利用者(入所・通所者)をはじめ、家族、来賓など多くの方々が出席し、踊りや民謡などの演芸を楽しみながら、敬老者の長寿と健康を祝いました。